

91 スハダナメクジ(仮称)

(コウラナメクジ科)

兵庫県ランク:C

*Nipponolimax* sp.

環境省ランク:指定なし

種の概要

未記載種である。体長25~35mm、頭部後方で外套部が隆起し、軟体中ほどに殻板が内在している楕がある。体色は基本的に肌色であるが、個体によっては尾部や楕より前方がやや黄褐色を帯びて濃くなる。大触角は外套膜前端部の基部より黒く彩色され、小触角は先端部のみ黒くなる。殻板は白色半透明で長径3.5mm、短径2mm程度の楕円形をし、左後方に核がある。兵庫県北部から鳥取県にかけて分布し、数百~1,000m弱の比較的標高の高い山中の沢沿いで確認されやすく、流れの中の草の生えた岩上にもいることがあり、湿度の高い場所を好む。同種と考えられるものは徳島県などでも確認されている。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
							○

県内分布

養父市、香美町、新温泉町

県内における生息状況及びその他特記事項

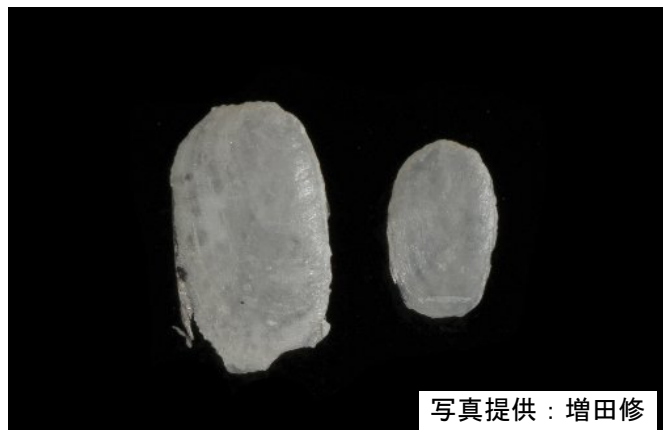
新規追加種。県内では、但馬に分布する。既知産地は比較的多いが、個体密度は低く、複数が確認されることは少ない。

保護上の留意点

溪流などの山地流周辺といった湿潤な低木混じりの草本帯を好むので、林道建設などによる極度な護岸の河岸植相の消失や、上流域の自然林の伐採や植林による河川水の減水を避け、広範囲な林地の保水性を維持すること。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修